

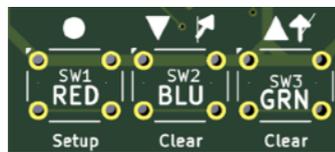
# TRAINO レイアウトデコーダKP説明書

## 概要：

レイアウトデコーダKPは、KATOポイントを効率よくDCC化するための外付けポイントデコーダです。6番ポイント、4番ポイントダブルクロスをサポートします。ルート機能を使えば、一つのDCCアクセサリアドレスで一括操作も可能です。調整時に便利な手動操作も可能です。



LCD表示の見方  
 上の行は操作司令,  
 下の行はポイント動作履歴です。



スイッチを押しながら電源を入れると各種モードになります。  
 赤=>設定モード  
 青=>設定データ消去  
 緑=>テストモード  
 詳しくは次のシートをご覧ください。

## 仕様表

項目	内容
大きさ	100mm x 100mm
使用電圧	12V-19V
出力	1 A
アドレス設定	1-250(アクセサリアドレス)
機能	

TOMIX,Fleishmann,PECOポイントモーターでも動作確認していますが、半導体の定格を超えた使い方になりますので、動作保証範囲外とさせていただきます。

電源の切り替え (AC/DCアダプタかDCCを直接使うか) については、現時点で未定

# 試作用 V0.2

## ■操作および表示の説明

### (1)DCCポイント操作

出力チャンネルごとに事前に設定されたDCCアクセサリアドレスでコマンドステーションから操作できます。



アドレス1をストレート側 (直線側) に動かした直後の表示例

### (2)DCCルート動作

ポイントの一括変換機能です。ルートごとにDCCアクセサリアドレスを一つ設定できます。最大40ルート利用できます。



ルート1にDCCドレス20が設定されており、CH12がDIV側 (曲線側) に動いた直後の表示

### (3)マニュアル操作

本体ボタンでポイントを操作します。

#### マニュアル表示の場合

赤：操作CHの切り替え  
 青：カーブ側に切り替える  
 緑：直線側に切り替える



チャンネル4をストレート側 (直線側) に動かした直後の表示例

#### ルート表示の場合

青：ルート番号を下げる  
 緑：ルート番号を上げる



なお、DCC信号で操作があった場合は、マニュアル操作モードは自動的に終了します。再度、赤ボタンで画面を呼び出し、操作してください。

## ■設定データの構造

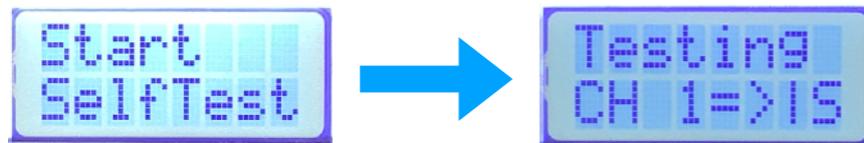
出力チャンネル（16個）ごとにDCCアクセサリアドレス(1-250)を設定します。同様にルート（40本）に対して、DCCアクセサリアドレスと、各チャンネルのポイントアクションを設定します。

チャンネル設定		ルート設定						
CH#	DCCアドレス	Route#	DCCアドレス	CH1	CH2	CH3	...	CH16
1	15	1	101	D	D	-	...	D
2	16	2	102	S	S	-	...	S
3	17	3	103	-	-	D	...	D
4	18	4	104	-	-	S	...	S
5	0	5	0					
6	0	6	0					
7	0	7	0					
8	51	8	0					
9	52	9	0					
10	0	10	0					
11	0	11	0					
12	0	...	0					
13	0	...	0					
14	0	...	0					
15	0	39	0					
16	0	40	0					

上記の例では、DCCアドレス101に指令を送りますと、ルート#1が選択されて、CH1,CH2,CH16をDIV側に操作します。

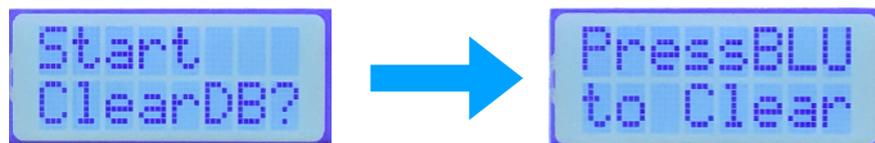
## ■配線テスト方法

緑スイッチを押しながら電源を入れますと、テストモードに入ります。自動的に、CH1～CH16に対して操作信号を出力します。確実にポイントが切り替わるか、また直線方向が合っているかを確認してください。また、再度緑スイッチを押すとテストを終了します。



## ■設定の初期化方法

青スイッチを押しながら電源を入れますと、下の画面が表示されます。もう一度青スイッチを押せば、上記表のデータ（赤文字部分）を初期状態に戻せます。初期状態では、各チャンネルは、チャンネル番号（1-16）に書き込まれます。



## ■設定変更方法(赤スイッチを押しながら電源ON)

